



報道各位

お知らせ
平成22年8月10日
宇宙航空研究開発機構

陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)による中国甘肅省土砂災害に伴う緊急観測結果について

2010年8月8日(日)、中国北西部の甘肅省甘南チベット族自治州舟曲県かんしやくしやうかんなん ドウクアユで発生した土砂災害について、宇宙航空研究開発機構では8月10日に陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)搭載の高性能可視近赤外放射計2型(アブニール・ツー)による緊急観測を実施しました。観測結果につきましては、以下のWEBサイトに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

◆掲載ページ

地球観測研究センター(ALOS サイト 画像ギャラリー 最新画像)

http://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/img_up/jdis_opt_gansumudslide_100810.htm

なお、JAXA HP トップページ の「だいち災害情報」からもリンクを貼っております。

<http://www.jaxa.jp/>

* HP 掲載されております画像は、自由にダウンロード可能です。

画像ご使用の際は、「JAXA 提供」、「(C)JAXA」などのクレジット付与をお願いいたします。

<画像についてのお問い合わせ先>

地球観測研究センター ALOS 解析グループ

高橋:050-336-22129(会社)(本日 20:00 時まで)

それ以降は広報部報道グループまでお願いします。

以上

宇宙航空研究開発機構 広報部

〒100-8260 東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル Tel.050-3362-4374 Fax. 03-6266-6911

陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)による中国甘肅省土砂災害の緊急観測結果

2010年8月8日、中国北西部の甘肅省甘南チベット族自治州舟曲県で大規模な土石流が発生し、甚大な被害が出ています。宇宙航空研究開発機構(JAXA)では2010年8月10日13時13分頃(日本時間)に陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)搭載の高性能可視近赤外放射計2型(アブニール・ツー)により現地の緊急観測を実施しました。

【図1】

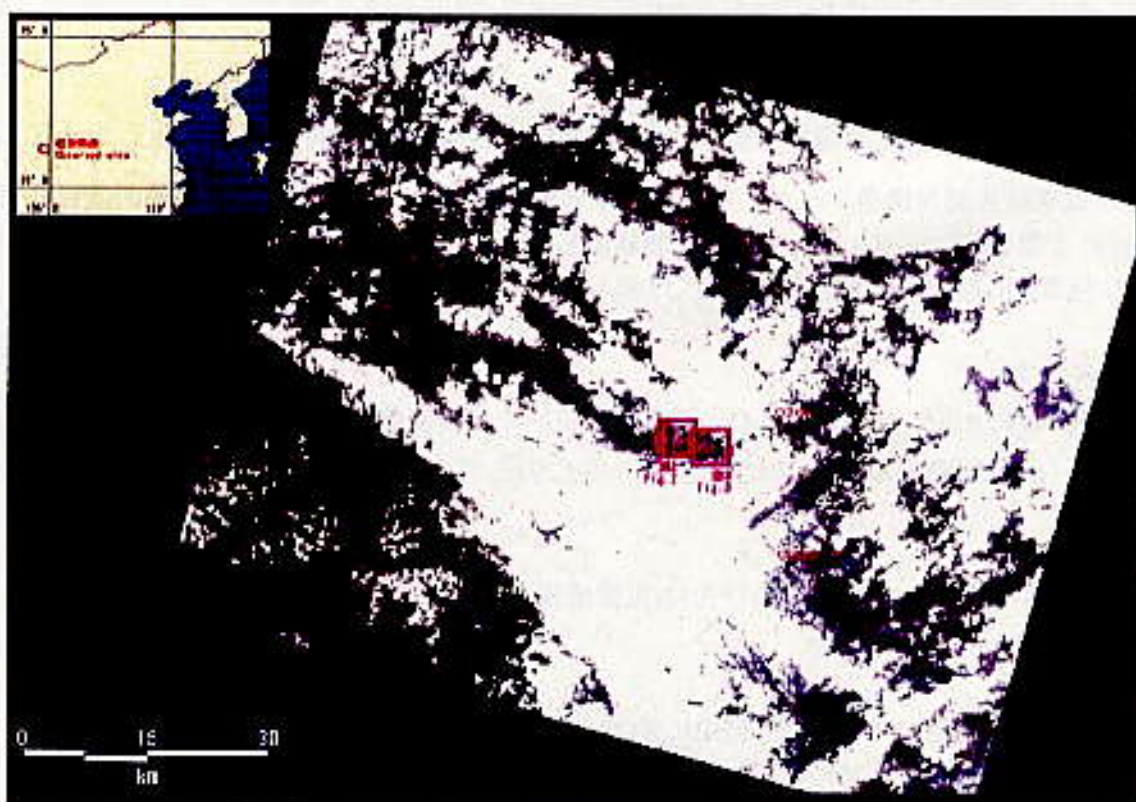


図1:今回観測した画像全体

取得日時:2010年8月10日13時13分頃(日本時間)

センサ:AVNIR-2(アブニール・ツー)

ポインティング角:31度、紫色枠:図2.3の範囲

図1は今回観測した画像全体の様子を示したものです。アブニール・ツーのバンド3,2,1を合成したトゥルーカラーで表示しており、人の目で見た色に近く見えます。白く見えるのは雲ですが、雲の隙間から土砂災害のあった箇所を確認することができました。

【図 2】

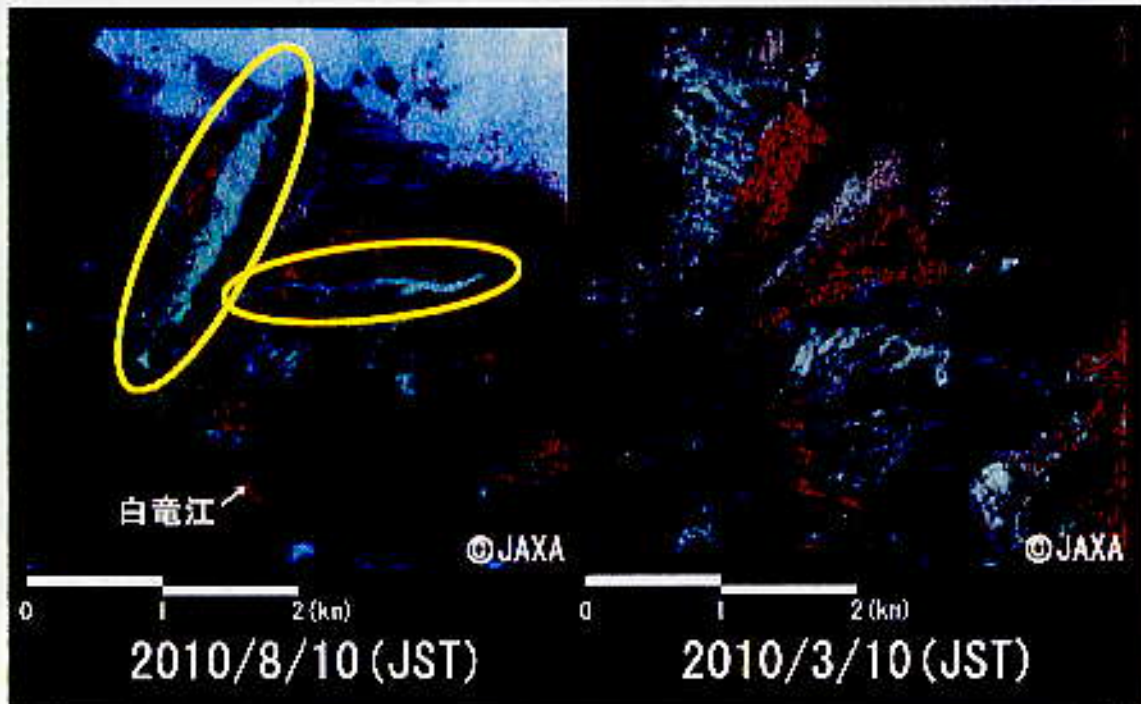


図 2: 土砂崩れが発生した三眼村付近の拡大(それぞれ 4km 四方)
左: 2010 年 8 月 10 日 (災害発生後), 右: 2010 年 3 月 10 日 (災害発生前)

図 2 は、2010 年 8 月 10 日観測の画像と災害発生前の 2010 年 3 月 10 日の画像を比較したものです。バンド 4, 3, 2 を合成したフォールスカラー画像で表示しており植生が赤く見えるため、土砂崩れなどにより植生が失われたところを明確にとらえることができます。黄色丸で囲ったところは、土砂崩れが発生し南側の白竜江へ流れて落ちているように見えます。報道されています土石流や瓦礫でせき止められた白竜江の増水は、3度に渡る爆破により解消されたように見えます。また緑粋の橋は、今回の災害により崩れたように見えます。

【図 3】

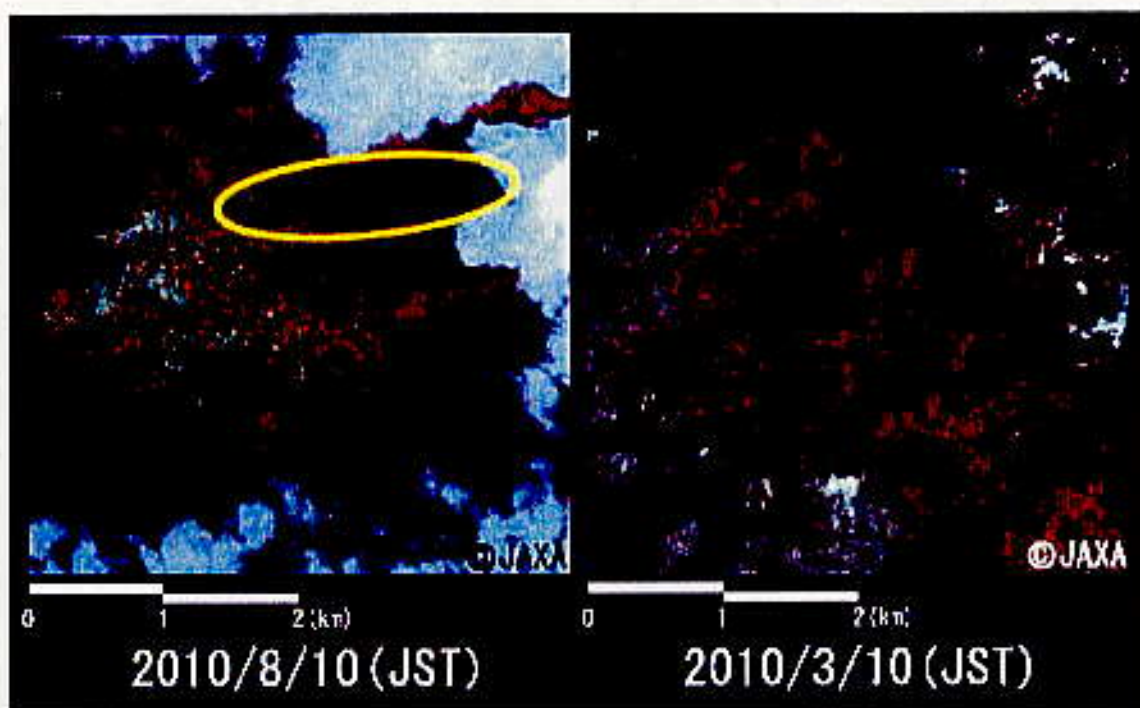


図3:土砂崩れが発生した没水山村付近の拡大(それぞれ4km四方)
 左:2010年8月10日(災害発生後),右:2010年3月10日(災害発生前)

図3は、2010年8月10日観測の画像と災害発生前の2010年3月10日の画像を比較したものです。黄色丸で囲ったところは、土砂崩れおよび土石流跡のように見えます。

JAXAでは今後も当該地域を継続して観測する予定です。

なお取得された画像は、国際災害チャータの枠組みにより中国国家気象局に、センチネルアジアの枠組みにより中国国家地震局に提供されています。

*高性能可視近赤外放射計2型(アブニール・ツー):青域から近赤外域の電磁波を4つのバンドで観測することができる光学センサで、衛星直下を観測の際には幅70kmの範囲を地上10mで識別できる能力があります。また、東西44度まで観測範囲を変更することができるポインティング機能を有しています。今回の画像は西側から31度で取得しました。